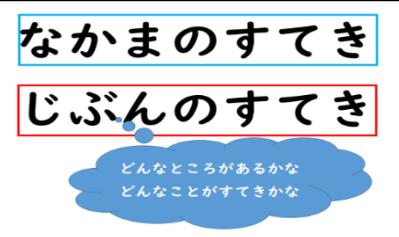
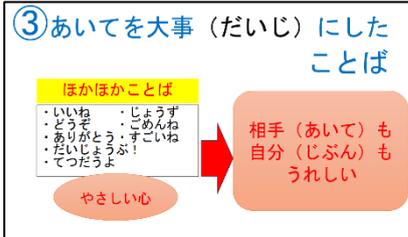


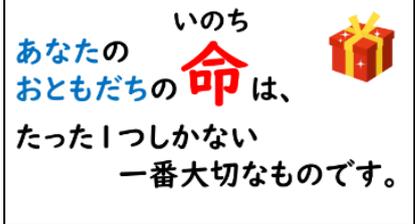
いじめについて考える

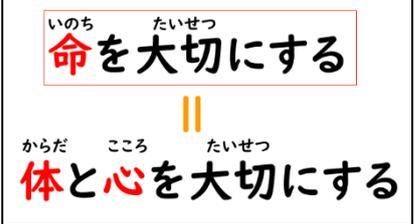
「いじめのない学校に…」 「いじめのない社会に…」 学校だけでなく、社会全体からいじめが無くなり、誰もが安心して暮らせる社会に… そのためには、自分が言葉を発するとき・行動するとき、相手（周囲）が、どう受け止めるか、相手の気持ちになって考えたうえで、言葉を発する・行動することが大切だと思います。

岩野田小学校では、6月26日（月）から30日（金）までを「いじめ防止強化週間」として、7月3日（月）を「いじめについて考える日」として、以下の内容（抜粋）に全校で取り組みました。

<p>6月 26日</p>		 <p>どんなところがあるかな どんなことがすてきかな</p>	<p>仲間の、そして自分の素敵な姿を見つけましょう。 「かはやきみつけ」は、互いにうれしい気持ちが増え、さらに成長していくことができます。</p>
<p>6月 27日</p>	 <p>ほかほかことば ・いいね ・どうも ・ありがとう ・だいじだよ ・すげえ！ ・じょうねえ ・ごめんね ・ごさうごいね</p> <p>相手（あいて）も 自分（じぶん）も うれしい</p> <p>やさしい心</p>	<p>クラスで 「ほかほかことば」 を かんがえよう</p>  <p>みんなが「えがお」しているために</p> <p>年 組</p>	<p>生活の中で、「ちくちくことば」をやめ、「ほかほかことば」を使いましょう。相手を大事にした言葉を使うと、相手も自分もうれしくなります。</p>
<p>6月 28日</p>	 <p>すてきな友達 人はみんなだれでも 一人ひとりを愛してあげないから いつもすてきな友達と この手をうたぐり かなしい時も なかまがいれば こころはだいじ くらしも なかまがいれば ほくもあつても ときどきほくもあつても くまもあつても ときどきくまもあつても いじもすてきな友達と ほほえまかわすさ あいてはなにか うれさああれば あいてはなにか うれさああれば つらくはない あいてはなにか うれさああれば あいてはなにか うれさああれば</p>	 <p>絆 音楽 笑顔 仲間</p> <p>心を豊かに つよさ</p>	<p>みんなで「すてきな友達」になりましょう。悲しい時、つらい時などに、気持ちを分かり合える友達、助け合える友達がいれば、心の支えになります。</p>

6月 29日		<p>とくべつな人がもつものではなく、みんなが同じようにもっている人権</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶人権(人がしあわせに生きる権利)は「とくべつなだれか」ではなく、「だれもが」もっている権利です。もちろん「あなた」も「まわりの人」も同じように人権をもっています。 ▶自分を大切にしてください。そして、自分と同じように、周りの人を大切にしてください。 	子ども、障がいのある人、高齢者、外国の人など、差別することなく、互いに大切にしていきましょう。誰もが幸せに生きる権利があります。
-----------	---	--	--

6月 30日		<p>「しね」という言葉ほど「命」を大切にしていな言葉はありません!</p> 	「しね」という言葉を、岩野田小、岐阜市、岐阜県、日本中、世界中からなくしていましょう。「命」は、親からもらった最初大切なプレゼントです。
-----------	---	--	--

7月 3日		<p>いじめをしない。 相手の気持ちを想像する。 すぐに相談する。</p>	体だけでなく、心も傷つけないようにしましょう。相手の気持ちを想像して、話したり行動したりすることが大切です。傷ついた時は、すぐ相談しましょう。
----------	--	---	---

	 <p>「しんゆうだけど だいきらい」 文・絵 石山さやか 岩崎書店(株)</p>	本を題材にして、全校道徳を行いました。相手のために、と思ってとった行動は、相手にとって望まないことで…より良い仲間関係について考えました。
---	--	---

今後も、人とのかかわり方について、日々の学校生活の中で、月1回の「いじめを見逃さない日」の中で、繰り返し指導していきます。

しかし、言葉遣いや人とのかかわり方については、学校だけで身につけていくものではありません。ご家庭内でも、地域でも、同じ方針で子どもたちに教えていただきたいと思っています。誰もが安心して暮らせる社会を作るために…